

上高田小学校・新井小学校統合委員会 要 点 記 録

第 7 回

開 催 日 時	平成 30 年 8 月 28 日(火) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分	
開 催 場 所	新井小学校 図書室	
出席者	委 員	関田光延、川野辺次男、樋口勇、梅原裕之、磯貝依史真、 須田麗和、齋藤竜、小野寺麗、井上政行、久保功、小野武、 濱本敏典、大杉俊男、須藤江理、小池隆一、杉渕尚、幅健司、 谷岡省三、高橋昭彦、石原千鶴 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校・地域連携担当、子ども教育施設担当
会 議 次 第	【議事】 1 校名の検討について 2 その他	

第 7 回 上高田小学校・新井小学校統合委員会 会 議 要 旨

1 開 会

委員長

定刻となったため、これより第7回学校統合委員会を開会する。傍聴希望者はいない。

2 議 事

議事(1) 校名の検討について

委員長

議事(1) 校名の検討について、事務局の説明を求める。

■資料「校名募集の結果について」を事務局より説明

1. 募集期間 平成30年6月20日(水)～8月3日(金)
2. 応募総数 75 (枚数68：応募箱53、FAX11、郵送4)
3. 種類 62

(50音順)

	学校名	よみがな	主な説明(理由)
1	明美	あかみ	・明るく美しい学校になるように。新井小学校の「あ」と上高田小学校の「かみ」も含めている。

2	荒神	あらかみ	・学校が荒れないように神がいるような学校（穏やかに過ごしてほしい）という意味で。新井小学校の「あら」と上高田小学校の「かみ」も入れた。
3	あらた	あらた	・新井の「新」と、上高田の「田」。「新た」「改た」という意味も込めて。
4	育鵬	いくほう	・児童の教育方針として、将来は世界に羽ばたける人材、すなわち広い視野と充実した識見を有する鵬（ホウ。オオトリ。『荘子』にみえる想像上の大きな鳥）のような人間を育成することを目標とすることとし、この意味をこめて校名を「育鵬」とする。
5	光進	こうしん	・両校の校歌の中で子供たちの成長を願う大切な一文字を、それぞれ組み合わせた。
6	新未	しんみ	・新たな未来を創造する子どもたちが通う学校になってほしい。
7	第五	だいご	・両校の生徒は、第五中学校に進学してお互いに知り合う。その仲間との繋がりは社会人になっても続いている。第五中学校の繋がりを小学校のうちから経験できるようになることを、卒業生たちが嬉しく思う意味を込めて。
8	第三	だいさん	・中野第一小学校、桃園第二小学校があるため。第三中学校が無くなったことで間違えにくい。
9	第二	だいに	・中野第一小学校に続いて開校するから。
10	のぞみ	のぞみ	・子どもたちが明日に向かって希望（のぞみ）を持って学んでほしい。
11	未来の宝	みらいのたから	・児童は未来の宝。 ・「上高田（かみたかだ）」「新井（あらい）」から、「み」「らい」と「たか」「ら」を取った。
12	みんなの	みんなの	・みんながいるから。 ・新井小学校と上高田小学校が統合し、みんな一緒になるから。
13	明虹	めいこう	・いろいろな個性を持った児童が成長して社会へ出て、きらきらと輝いてほしい。
14	【新元号】		・来年5月から新元号になるが、統合新校のスタートは再来年4月であり、時間的に余裕があるのでいかがだろうか。 ・新時代と統合新校とを合致させる。
15	中野【新元号】	なかの【 】	・学校の場所が分かるように地域の名称を使用したいが、両校の名称が使えないので、時代が分かるように新年号を冠したものにしたい。 ・地域と何のゆかりもない名前だけはやめてほしい。

地域に関するもの			
16	新井薬師	あらいやくし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を想像しやすい。 ・新井薬師、新井薬師駅、新井薬師公園に近い。 ・新井薬師駅を挟んで立つ 2 校の統合であり、新井薬師公園がすぐ近くにあり、毎日両校の児童でにぎわっている。公園内には児童館もあり、両校と強い関わりがある。
17	新井薬師前	あらいやくしまえ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と深く結びついている薬師様の名前を入れることで、歴史を大切にす姿勢を未来ある子どもたちに示したい。 ・今風の名前にすると、将来的に時代遅れと感じる時期が必ず来るので普遍的な校名が良い。
18	焚火の歌	たきびのうた	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を想像しやすい。
19	哲学堂	てつがくどう	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校の位置が、哲学堂に近い。
20	豊多摩	とよたま	<ul style="list-style-type: none"> ・平和の森公園のある土地の旧名称。
21	中野哲学の道	なかのてつがくのみち	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区の素晴らしい哲学道への道に近く、将来立派に勉強に励み人生を歩めるよう歴史を学ぶ。 ・両校共に素晴らしい学校だが、統合されることで、子どもたちが新しい希望を胸に立派に成長してくれるように、近代的な校名を考えた。
22	中野通り	なかのどおり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を想像しやすい。
23	薬師	やくし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を想像しやすい。 ・地域と深く結びついている薬師様の名前を入れることで、歴史を大切にす姿勢を未来ある子どもたちに示したい。 ・今風の名前にすると、将来的に時代遅れと感じる時期が必ず来るので普遍的な校名が良い。 ・両校とも新井薬師駅を使う人が多い。
24	薬師さくら	やくしさくら	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校は、有名な新井薬師の門前町に位置する。桜並木が続く中野通り沿いでもあり、春には桜で彩られる。この二つを組み合わせることで、新校に明確な印象を持たせられる。
25	薬師の森	やくしのもり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くに新井薬師があるから。 ・新井小学校の校歌に「薬師の森」という歌詞があるから。 ・新井小学校と上高田小学校に共通する「薬師」。 ・近隣に「平和の森」小学校があるので、その対比として。
26	やくしの森	やくしのもり	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに古くから新井薬師があり、上高田・新井地域住民にとって共通の名所であると感じたから。 ・新井小学校の校歌から「やくしの森」という言葉を残したい。

自然を連想させる言葉が入ったもの			
27	曙	あけぼの	・子供の成長を日の出に例えた。
28	梅の光	うめのひかり	・厳しい寒さに耐え美しく咲いた梅の花が早春の陽の光を受け輝き光を放つ姿に、学校と子どもの明るい未来を託して。 ・2校を長く支え見守ってくれた東光寺(上高田)・梅照院(新井)に敬意を表し、歴史と伝統、地域を大切にする学校、子どもに成長してほしいという願いを込めて。
29	桜美	おうび	・統合新校が、桜並木が美しい中野通りに面している。
30	木陰	こかげ	・静かに安らぎ安心して勉学ができるように。また、児童のかわいらしさを思った。
31	さくら	さくら	・中のどおりに、さくらの木がいっぱいあるから。 ・たくさんの人に好かれている桜のように好かれる学校であってほしい。 ・愛される学校、愛される子どもであるように。
32	桜	さくら	・統合新校ができる中野通りには、日本を代表する桜がきれいに咲いている。
33	桜咲く	さくらさく	・桜がきれいだから。
34	桜田	さくらだ	・統合新校の位置が、桜がたくさん咲いている中野通りに面しているから。 ・「うわあ、桜だ！」の「桜だ」から。
35	桜通り	さくらどおり	・春になると桜の花が満開になりとても綺麗である。また「通り」をつけることで、桜のアーチのような道を想像させたかった。 ・統合新校は、中野通りに面しており、春のピンク色の桜、夏の青々とした緑、秋の美しい紅葉に恵まれる。地域の貴重な財産である桜を象徴し、また木々を大切に守っていく心を持った人に育ててほしい。 ・桜通りがきれい。
36	桜通	さくらどおり	・統合新校が桜の名所である中野通りに面しているから。
37	さくら並木	さくらなみき	・新校は、中野通りの桜並木沿道にあり校庭にも桜の木が多くあり、桜並木の見頃のように華やかに小学校生活を送ってほしい。
38	さくらなみき	さくらなみき	・中野通りの約300本の桜並木は地域の宝物であり、同様に子どもたちも宝物である。また、地域の小学校は、地域の宝物である。

39	さくらの	さくらの	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校は、桜の名所中野通りに面している。 ・春は花が美しく、道を歩く人の心を癒し、夏は木陰を作り、冬は葉を落とし、暖かい光を送ってくれる桜が、これからも子どもたちの登下校を見守ってくれるだろう。
40	さくらのみち	さくらのみち	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になっても、桜の時期になると、満開の桜の道を通って小学校に通ったことを思い出してほしい。
41	櫻の森	さくらのもり	<ul style="list-style-type: none"> ・「櫻」の文字には、『小さい実のなる木』という意味があり、小学生が最初に覚えたり書いたりする文字に「木」がある。小さい実のなる木が集まり、林になり、森になって羽ばたいてほしい。 ・統合新校が桜の名所である。
42	桜舞	さくらまい	<ul style="list-style-type: none"> ・中野通りの美しい桜のように、子どもたちにイキイキと学校生活を楽しんでほしい。
43	桜道	さくらみち	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校が桜の名所である中野通りに面しているから。
44	桜山	さくらやま	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校のできる中野通りでは、桜が山のようにたくさん咲いている。 ・二つの学校が統合し、児童数が増え、桜のようなたくさんの笑顔で山のように元気がある人になってほしい。
45	新桜	しんおう	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらどおりにあるあたらしい小学校。
46	中桜	ちゅうおう	<ul style="list-style-type: none"> ・中野の「中」と中野通りのきれいな桜の「桜」。
47	つつじ桜花	つつじおうか	<ul style="list-style-type: none"> ・両校の身近にある花の名前を入れてみた。
48	中野桜	なかのさくら	<ul style="list-style-type: none"> ・中野通り沿いにあり、春は桜がきれいなので。 ・中野通りの桜並木と共に、これからも歩んでほしいという願いをこめて。
49	中野さくら	なかのさくら	<ul style="list-style-type: none"> ・統合新校は中野通りに面していて、入学式の頃は桜が満開になる。 ・桜の木が歩道に連なり、子どもたちを見守ってくれているようだから。
50	中野桜台	なかのさくらだい	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい桜が寒い冬に耐えて咲き誇ることが小学生の希望があふれる未来に重なる。 ・両校共に素晴らしい学校だが、統合されることで、子どもたちが新しい希望を胸に立派に成長してくれるように、近代的な校名を考えた。
51	中野桜園	なかのさくらのその	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の季節に美しい桜が咲き誇る小学校。 ・両校共に素晴らしい学校だが、統合されることで、子どもたちが新しい希望を胸に立派に成長してくれるように、近代的な校名を考えた。

52	花守	はなもり	<ul style="list-style-type: none"> ・桜が印象的な学校。 ・桜が、1年中児童を見守ってくれている佇まいがある。
53	文桜	ぶんおう	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強ができて、桜のようににぎやかにしている生徒がいっぱいいる小学校になってほしい。
54	みどり	みどり	<ul style="list-style-type: none"> ・上高田小学校は、お花のイメージがあり、お花には緑の葉っぱがついているから。
両校の校名に関するもの			
55	新井上高田	あらいかみたかだ	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ある二つの小学校の名前はどちらも残すべき。 ・順番は、どちらが先か、という問題があるかもしれないが、単純に50音順にした。 ・学校の立地が分かるように、地名が入った名称が望ましい。
56	新井の森	あらいのもり	<ul style="list-style-type: none"> ・新井小学校の校歌にある。 ・森のようなたくましい児童になってほしい。
57	新上	あらかみ	<ul style="list-style-type: none"> ・両校を合わせた。
58	上新井	かみあらい	<ul style="list-style-type: none"> ・上高田小学校と新井小学校を合わせた。上高田小学校、新井小学校が統合し、現在の両校を上回る学校になってほしい。
59	かみあら	かみあら	<ul style="list-style-type: none"> ・上高田小学校と新井小学校が統合するから。
60	上高田新井	かみたかだあらい	<ul style="list-style-type: none"> ・両校の名称を未来に残したい。 ・卒業生が母校を思い出すことのできる校名にした。
61	上新	じょうしん	<ul style="list-style-type: none"> ・上高田小学校と新井小学校を合わせて。 ・両校の旧名が生きるように。
62	新上	しんじょう	<ul style="list-style-type: none"> ・新井小学校と上高田小学校を合わせて。

委員長

今の説明について、意見・質問等あるか。ないようであれば、一人ずつ感想を伺いたい。また、この他に思いついた校名があればあわせて紹介いただきたい。

委員

29番の「桜美」のように、斬新な校名が多いというのが率直な印象である。高等学校に桜美林があると思う。両校の名前から取った「新上」などが良いと思う。長い校名はあまり良くないと思うので、二文字程度に収まる校名が良い。

委員

14番の新元号が良いと思う。大学にも元号を校名に取り入れたところはあるが、統合新校として出発点となるようで良いと思う。

委員

素敵な名前が多いと感じたが、シンプルに立地が分かる16番「新井薬師」が良いと思う。あとは地名と桜を合わせた校名が良いと思う。

委員

地名を連想しやすい16番「新井薬師」、区内で価値がある19番「哲学堂」が良いと思う。また、「哲学堂下」のように近くにあるということを表す校名でも良いと思う。あとは、36番「桜通」のように中野通りが桜の名所であることを表している校名は素晴らしいと思った。

委員

中野通りは桜のイメージが強いし、校章にも入れやすいのではないかと思う。長いと子どもたちも使いづらいので、49番「中野さくら」が地名も地域の人に分かりやすいし良いと思う。

委員

49番「中野さくら」が統合新校のイメージに近くて良いと思う。37番「さくら並木」も良いと思う。漢字かひらがなかは迷う。

委員

4番「育鵬」を推したい。上高田小学校と新井小学校の両方の地名を組み合わせても、何を表しているのか分からないと思う。子どもが自分の通う小学校の名前を聞かれたとき、胸を張って言えるものが良い。学校の教育方針を表した校名が良いと思う。

委員

中野を代表する桜並木が近くにあるので、37番、38番、48番の桜が入った校名が良いと思う。ひらがなを漢字に変えても良いと思う。

委員

調べてみると、31番のひらがなの「さくら」は豊島区立さくら小学校があり、32番の漢字の「桜」だと世田谷区立桜小学校があった。特に豊島区は隣の区である。都内に小学校は1300校あり、全国だと2万校あるので、どうしても名前の重複は出てくると思うが、近いところに同じような名前の学校があるとあまり良くないのではないかと思う。近隣で同じ名前の学校があれば教えてほしい。また、先ほど元号という話があったが、今都内では明治小学校が江東区にあり、大正小学校が台東区にあり、昭和小学校が文京区にあり、平成小学校が台東区にある。この発想でいくと、元号の使用もありだと思う。都内で平成32年度開校の学校はどのくらいあるのかも疑問に思った。

委員

桜は地域性を良く表していると思うが、小学校名で多いので、重ならない名前が見出せたらよいと思う。

委員

小学校なので、長すぎたり難しい漢字が入っていたりすると子どもたちも抵抗があると思う。桜は素敵だと思うし、それを取り入れた校名の応募は多いが、隣にある白桜小学校と名前がかぶる気がする。また、場所がすぐに分かる校名が良いと思うので、「新井薬師」などが入ったものが良いと思う。さらにこれらを元号と組み合わせても良いと思う。

委員

桜が他校とかぶるからといって無理に他の単語と合わせても良くないし、長い名前も好ましくないと思う。29番「桜美」は気品高く聞こえるし、桜が美しいという意味合いが子どもにも分かりやすいと思う。また、子どもは「ドラえもん」「ガリガリ君」といった濁点が付いた言葉に親しみを覚えると聞いたことがあるので、この名前は良いと思う。また、新元号もとても魅力的だと思う。ただ、新元号が何になるのか分からない状態でそれに絞るのは良くないと思うので、元号発表まで校名の決定を待てるのか、あるいは他の候補を残しながら検討するのかといった点は気になる。

委員

自分が社会科の専科の教師であるということもあり、社会的な事象から名前をとりたい。両校の地域を包括する地名はないので、「新井薬師」や「哲学堂」は魅力的な名前だと思うが、公立小学校が宗教施設の名前を冠するのはどうだろうかと思うし、哲学堂は東洋大学の創設者の井上円了氏の思想で作られた場所なので、一般的な哲学とは違う意味合いをもつと思う。こうして検討していくと、元号ならば学校が出来た時代を表すので良いと思う。報道によると新元号の発表は

来年4月が予想されるので、平成32年度の統合校が新元号を初めて使う学校になると思う。その年の統合校もしくは新校は東京都ではあまり無いと思う。最初に元号を使う学校になるというのは、魅力的だと思う。ただし、教育委員会に報告し、その後議会の議決を得る必要があるので、スケジュールが間に合わないという可能性もある。元号が分からない状態で校名の検討を進めて良いのであれば、元号にしたいという思いがある。

委員

この地域は桜のイメージが強いと思う。29番「桜美」、14番新元号が魅力的だと思う。自分は台東区の平成小学校に勤めたことがあり、元号に魅力を感じる。

委員

自分は32番「桜」と14番新元号が良いと思う。

委員

桜のイメージが強い地域だと思う。新元号は校名として魅力的だが、今後校章と校歌を作っていくことを考えると、スケジュールが間に合うのかどうか教えてほしい。

事務局

新元号にした場合、新元号の発表後すぐに統合委員の皆さんに集まってもらい、この場で合意をいただく必要がある。その後の校章と校歌の制作のスケジュールがタイトになると思うが、可能だと思う。

委員

スケジュール的に可能であれば、新元号は非常に魅力的だと思う。両校の名前を組み合わせたものはあまり良くないと思う。「新井薬師」「新井薬師前」「哲学堂」はお寺の学校のようなイメージがついて回ると思う。

委員

この名前を推薦するつもりはないが、自分は13番「明虹」を応募した。この周辺の学校は、平和の森小学校や白桜小学校など、自然の名前をとっている学校が多いように感じる。桜を入れると白桜小学校とかぶり、この地域の学校が全て桜がついているような印象を受けて、あまり良くないと思う。なぜ虹にしたかという、東の空に輝き、また、両方にまたがるということで二つを一つにまとめるというような意味合いから考えた。55番から62番の地名を単純に合わせたものは推薦しにくいと感じる。「薬師」や「哲学堂」は有名だが、これを学校名にするのは少し違う気がする。自然に関する抽象的な「桜」「光」を使ったもの、10番「のぞみ」が将来的に良いと思う。

委員長

本日欠席の委員からは、15番「中野新元号」、25番「薬師の森」、26番「やくしの森」を推薦いただいている。続いて、校名を絞り込む方法について協議したい。統合新校の校名については、応募していただいた校名をもとに協議して、途中で新たな校名を加えることが出来ると前回決定した。どういう方法で候補を選定していくか意見があれば伺いたい。ないようであれば、事務局から過去の例を紹介してほしい。

事務局

過去の統合委員会の例を申し上げますと、最初に一人ずつ意見を述べ、協議して、何度か投票を交えながら絞る方法が基本だった。校名として多少疑義が生じる可能性があるものの取り扱いについては、初回で除外するのか、もしくは自然に候補から外れていくことを想定してそのまま残しておくのかどうかは、統合委員会によって異なる。今回の場合だと、募集時に、区内にある小学校名は使えないという制限を設けていたが、例えば、「上高田新井」のように、複数の校名を組み合わせたものについては特に定めていない。両校の校名に関するものの取り扱いについて規定していただく必要があると思う。

委員長

55番から62番の両校の校名を組み合わせた校名の扱いをどうするのか協議をしてほしい。このまま候補の中に入れて続けるのか、外して54番までの中で協議するのか、この部分から絞

っていきたい。意見があれば伺いたい。

委員

中野区の再編計画は平成17年に第一次の再編計画が策定されたが、それ以前から自分はPTAとして学校再編に関わっていた。その当時の学校再編に対する理念は、A校とB校が統合して、新しいC校をつくるというものである。全く新しい学校を作るという理念からすると、もとの学校の名前を組み合わせた校名はそれにそぐわない気がする。今までの統合委員会でも二つの学校の名前を組み合わせた校名候補はいくつもあつたし、それぞれの学校に対する地域の方々の思いを考えると除外するのは心苦しいが、その理念に立ち返って考えたい。

委員長

自分も、古い学校のイメージを引きずっていくのではなく、二つの学校から全く新しい学校を生み出すという考えをもって進んだほうがこれから先も良い結果が出てくると思う。例えばどちらの名前が先にくるかという点でも、この先新しい学校が自分の学校のほうが上位だという意識を持たれると、校長もやりにくいと思う。もめる原因を今から作ることはないのではないかと思う。

委員

今の意見に賛同する。また、61番「上新」は上新電機というものがあるので、同じ名前の私立・公立小学校や会社がある場合も再考したほうが良いと思う。

委員長

では、55番以降の両校の校名に関する応募を外すことについて、賛成の方は挙手をお願いしたい。

—異議なし—

委員長

では、両校の校名を組み合わせた校名については、候補から外すこととする。次回以降さらに絞込みをする。では次に、校名募集の結果の資料の取り扱いについて協議する。校名募集は、統合委員会として行ったことなので、この資料の取り扱いについても統合委員会で決めていくことになる。事務局から補足説明がある。

事務局

統合委員会の資料は通常、会議の終了後、区役所5階の学校・地域連携担当で公開しており、ニュースで協議内容をお知らせしている。お手元の校名に関する資料の取り扱いについては、過去の統合委員会では、「全て区役所で公開して皆様に見ていただいたほうが良い」という意見や、逆に「校名はナーバスなところがあるので、軌道に乗るまでは資料がひとり歩きしないように公開しないほうが良いのではないか」という意見があつた。そのため、この統合委員会でも、この資料を公開してもよいかどうかを話し合っていたきたい。公表するとなつた場合は、統合委員会ニュースに集まつた校名を全て載せようと思っている。因みに過去の統合委員会の例を述べると、第2次再編計画の統合委員会は全て資料を公開している。

委員長

今回の校名募集の結果の資料を公開するという意見の場合は、挙手をお願いしたい。

—異議なし—

委員長

では、公開することとする。公開まではお手元の資料の取り扱いについては十分にご留意いただきたい。

議事(2)その他

委員長

本日の議題は全て終了したが、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明がある。

区担当

前回の統合委員会で、新校舎の施設整備に伴い、中野通りに設置されている歩道橋の撤去等を検討してほしいという旨の要望を戴いたが、その件について説明したい。これは東京都第三建設事務所の所管になるので、事務局で歩道橋の撤去、また移設の可能性について確認した。まず撤去については、条件があり、利用者が著しく少ないこと、通学路に指定されていないこと、近傍に横断歩道が設置されていること、これらの条件を全て満たすことが必須となる。通学路に指定されていることもあるので、撤去は認められないという回答である。

また、移設については、道路拡幅工事等による歩道橋の移設が必須となる場合が考えられるが、移設事例は第三建設事務所のほうでも行っていないという回答だった。新校舎整備計画における児童の安全確保については、基本構想・基本計画を述べた時と同じ説明になるが、中野通り側の歩道をセットバックして、歩道を広げることで安全の確保を図っていききたい。以上のことから、歩道橋の移設撤去については、現在の位置が適当であると考えている。

委員

自分も撤去は難しいと考えていた。しかし、安全面だけではなくバリアフリーという点も気になる。地域に開かれた学校として小さな子どもから年配の方までに来ていただく場合に、歩道橋は障壁になると思う。撤去はできずとも、横断歩道ができればだいぶ利便性が向上すると思う。新校舎に移った後は、上高田地区の多くの子どもたちが歩道橋を渡ることになるが、そういう点も考慮してもらおうとありがたい。

委員長

新しい学校になればバリアフリーに関する要望は現在よりも増える可能性がある。歩道橋と横断歩道の両方がある交差点は自分もいくつか見たことがある。警察が東京都に交渉していただけるとありがたい。

区担当

交通管理者に確認して、ご報告したい。

委員長

次回の開催日について、事務局の報告を求める。

事務局

今回は 10 月 18 日木曜日 18 時半から、上高田小学校のランチルームをお借りしたい。

委員長

時期が近づいたら、開催通知を事務局から送付する。なお、本日以降に新たな校名を思いつかれた場合は、次回までに事務局のほうにお伝えいただきたい。本日の統合委員会はこれをもって終了する。